

学生相談所をご利用された方へ

当センターでは学生相談所にご相談・ご利用された方のデータを用いた研究を行っています。

【研究課題】 学生相談機関来談者の自殺関連指標に関する COVID-19 前後及び長期経過の特徴比較

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関 東京大学相談支援研究開発センター 実践開発部門

研究責任者 大塚尚

【研究期間】 2025 年 6 月 18 日～2027 年 3 月 31 日

【対象となる方】 2018 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に学生相談所を新規で利用された方

【研究の意義と目的】 国内外で COVID-19 の自殺関連行動への影響の分析が進められていますが、若年層への影響については不明なことが多い状況です。本研究では、COVID-19 感染拡大前後及び長期経過後の学生相談機関利用者の自殺関連指標の変化や影響を明らかにします

【研究の方法】

この研究は、東京大学ライフサイエンス倫理委員会の承認を受け（大学の学生支援向上を目的とした、相談施設が保有する臨床情報の解析（4））、東京大学相談支援研究開発センター長の許可を受けて実施するものです。

初回ご相談時にご回答頂いたアンケート Q045.2 への回答と、カウンセラーが客観的観察から評価した自殺関連指標について、匿名化したデータのみを統計的に分析します。

【研究における倫理的配慮（インフォームドコンセント、個人情報保護、資料の取扱等）】

「大学の学生支援向上を目的とした、相談施設が保有する臨床情報の解析（4）」で申請承認された通りです。

本研究は、個人が一切特定されることのない形で匿名化し、そのデータのみを統計学的処理により扱います。研究利用の同意および同意撤回については、学生相談所初回利用時に紙面およびオンラインフォーム上で説明した通りです。本研究に関する情報を相談支援研究開発センター内の当該サイトに掲載し、研究参加取り消しの機会を保障するオプトアウト方式を取ります。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局まで 2025 年 8 月 1 日までにご連絡ください。連絡をいただいた日以後の研究にはあなたのデータを使用しません。しかし、連絡を受けた時点で解析、学会発表、論文投稿等がすでになされていた場合、これらを修正するのは困難であるため、連絡日より前に遡ってデータを削除したり解析を修正したりはしません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後、5 年間保存されます。

【問い合わせ先】

東京大学相談支援研究開発センター 学生相談所 助教 大塚尚

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-2516（内線 22516）